



## 医療安全通信 第74号

Vol. 12-1

金沢医科大学氷見市民病院  
医療安全小委員会  
2019年6月5日発行

### 2019年度 第1回医療安全研修会

医療安全委員会主催



小畑 貴司医師

令和元年5月10日（金曜日）に2019年度 第1回医療安全研修会が開催されました。当日は、院外参加者8名を含む265名の参加があり、職員の医療安全に対する意識の高さを感じました。今回の研修目的は、静脈血栓塞栓症を正しく理解し、評価と適切な看護介入ができることとし、講師の胸部心臓血管外科医師の小畑貴司先生は、「静脈血栓塞栓症について」、医療安全管理者の渡辺いつ子課長は、「静脈血栓塞栓症予防対策マニュアルについて」、医療機器安全管理責任者の竹森美香副技師長は、「空気圧式マッサージ方法」のテーマで講演されました。初めに小畑先生から静脈血栓塞栓症、下肢に多いといわれる深部静脈血栓症の診断手順や治療法の選択など、

ガイドライン（日本循環器学会2017年度改訂版）を使用したリスク管理が重要。医療者は、予防法、診断、治療に関して知識と技術に精通する必要がある。予防に関しては、ガイドラインを順守、患者説明が重要で最も有効と大変わかりやすい内容で講演されました。渡辺課長からは、当院の静脈血栓塞栓症予防対策の現状は各診療科医師に委ねられており、すべての入院患者さんに対するスクリーニングの必要性とリスク評価に応じた適切な医療・看護の提供が求められている。当院のガイドラインに加え、予防対策マニュアル作成中であることと導入に際し、スタッフの協力が不可欠であると説明がありました。竹森副技師長からは、予防対策に不可欠な空気圧迫法に使用する医療機器の使用についてわかりやすく説明され参加者は、熱心に受講していました。病院に勤務する職員は、年2回の医療安全研修会受講が義務付けられています。当日参加できなかった職員は、院内LAN/DVD研修で受講してください。

### 部門紹介 中央臨床検査部

医療安全について

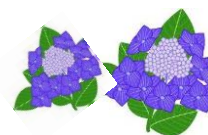
中央臨床検査部は現在19名（病理部、耳鼻科への配属も含む）臨床検査技師で構成されています。1階には、患者さんに心電図検査などを行う生理検査部門、2階に患者さんから採取された血液や尿などの検体を扱う検体検査部門（検体検査、輸血検査、微生物検査、病理部）があります。

また昨年4月より看護部と連携し、外来患者さんの採血業務に従事しています。新たに採血業務を始めるにあたり、採血手技、血管走行等の解剖学的知識等を看護部から指導していただきました。開始後は、検査部内で随時情報共有しながら、採血業務に励んでいます。昨年は血管性迷走神経反射について、部内カンファレンスを開き理解を深めました。今年度も引き続き『安全な採血』を医療安全目標に掲げ、積極的に採血時の患者情報を採血システムへ入力することにより、情報の共有化を進め、円滑な採血業務、医療事故防止につなげたいと考えます。

（医療安全小委員会委員 竹林 衣枝）



臨床検査技師による採血風景



### <お知らせ> 第19回 富山県公的病院医療安全研究大会

日時：6月29日（土）13:00～ 富山県高岡文化ホール 大ホール

当院発表演題：「医療安全に向けた病院管理栄養士の活動」～委託会社との連携～

発表者：栄養部 管理栄養士 松波 俊弥

是非、ご参加ください。

回覧												

## 平成30年度医療安全活動報告会

セーフティマネージャー会



当院は、各部門部署に医療安全推進担当者としてセーフティマネージャーを配置していません。セーフティマネージャーを中心に積極的な医療安全活動を推進しておりその活動内容をセーフティマネージャー会で報告し、情報共有と更なる改善につなげています。演題資料は、2階医局前廊下に掲示しています。平成30年度の各部署の演題は、下記表のとおりです。

開催日	発表部署	演題
5月24日	総務課	時間外入り口の段差解消について 暴言・暴力・迷惑行為、撮影禁止ポスターの掲示について
	医事課	検査紹介患者の撮影間違いについて
6月29日	3階東病棟	配薬カートチェック表の導入
	ICU	ICUにおける医療安全取り組み
7月27日	4階東病棟	転倒予防対策
	4階西病棟	モニターアラームの意識調査を通して ～今後の展開～
8月24日	5階東病棟	インシデント0レベル報告から リスク感性の向上を目指す
	5階西病棟	アクシデント事例について (皮膚損傷による縫合)
9月28日	手術部	手術室における体内遺残防止対策
	血液浄化センター	処置漏れをなくす取り組み ～インシデント事例より～
10月26日	看護部外来	造影CT時における点滴指示漏れ防止対策
11月30日	薬剤部	周術期の薬剤師介入
	ME部	当院の血液浄化センターにおける透析監視装置の管理体制
12月26日	中央臨床検査部	中央臨床検査部の取り組みについて
	医療情報部	電子カルテ取り込み後のCD管理について
H31 1月27日	内視鏡センター	医師参加のタイムアウトの強化
	中央放射線部	一般撮影及びポータブル撮影における再撮影低減への取り組み
H31 2月27日	ニチイ学館	ヒヤリハット・事故トラブル再発防止に努める
	ダスキンステア北陸	病室清掃時の注意点
H31 3月28日	リハビリテーション部	移乗時の皮膚損傷について
	栄養部	委託会社との連携 ～衛生管理の取り組み～

### 医療安全管理室よりお知らせ

転倒予防対策について

日本医療機能評価機構は、患者さんがオーバーテーブルを支えにしたことにより発生した転倒事例報告を受け、医療安全情報NO.132(平成29年)を配信し注意喚起を行いました。近年、入院患者さんの転倒予防の目的でロック機能付きのオーバーテーブルの導入が主流となっています。しかし当院で現在使用中のオーバーテーブルにはロック機能がありません。患者さんが支えにすると動いてしまい大変危険です。

患者さんには、入院時に転倒リスクを評価してリスクに応じて転倒予防パンフレットに沿って十分な説明を行い、転倒予防対策を実施しましょう。

《入院される患者さんへ》

❀入院中は、安全な履物(スニーカー)をご使用いただくようご協力をお願い致します。



#### お知らせ

全病棟のオーバーテーブルは、ロック機能付きキャスターに交換となる予定です。

